

哀しみの恋は、
深い傷あとを残した…
傷を負った帰還兵と、恋人、親友3人の愛を描く
マイケル・ベーン注目のラブストーリー

In a Shallow Grave

哀しみのラストダンス

「ターミネーター」「エイリアン2」のマイケル・ベーン ■ モーリン・ミュラー ■ パトリック・デンブシー ■ マイケル・ピーチ ■ トーマス・ボイド・メイスン
製作総指揮 リンゼイ・ロー/マリリン・ハフト ■ 製作 ケニス・ボウサー/バリー・ジョッセン ■ 監督・脚本 ケニス・ボウサー ■ 撮影 ジョルジー・スイースキン
アメリカ映画(カラー作品)日本ヘラルド映画配給

哀みのラストダンス

時は全ての傷を癒すことができるのか……

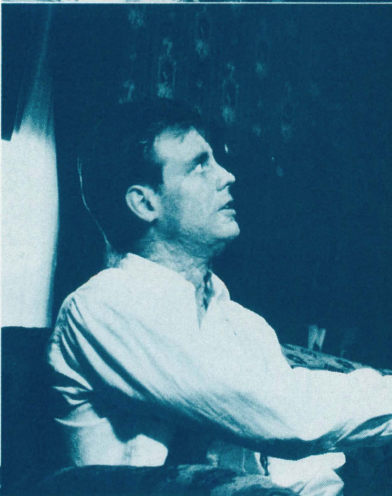
第2次世界大戦で顔にひどい火傷を負って帰還したガーネット(マイケル・ピーン)はケロイドに被われた自分の肉体を憎み、死神にすら見離されたような自分の運命を呪った。かつて愛し合った愛しき女ジョージナ(モーリン・ミュラー)への熱い思いを胸に、さりとて再会する勇気もなく悶々と過ごす日々。ある日、突然ころがり込んで来たひとりの若者、ポッター(パトリック・テンブシー)の存在が、ガーネットに変化をもたらす。彼は少しずつ現在の自分の姿を認め、その存在価値を知り、そして自分を、他者を「愛する心」を、とり戻していくのだった……。

愛は醜さを超えられるかというテーマは既に「エレファント・マン」や「マスク」で問われてきたが、これは突如襲って来た災いによって絶望のどん底に落とし込まれた男の魂の救済と回復の物語であり、愛の強さ、尊さをけしめなくプリミティブに描き出した、ヒューマン・ラブ・ロマンスの秀作である。

原作は現代アメリカ最高の作家として広く知られているジェームズ・パーティの同名小説。この小説を読んで深い感銘を受けた脚本・監督のケニス・ポウサーは映画化を決意してから5年の歳月を経てようやく完成にこぎつけた。ポウサーにとってはこれが監督デビュー作ではあるが、過去15年間映画界に従事してきたキャリアを生かし、原作の持つ崇高な情感を見事にスクリーンに焼きつけている。

アメリカ映画(カラー作品)日本ヘラルド映画配給

■スタッフ■
 監督・脚本……………ケニス・ポウサー
 製作……………ケニス・ポウサー
 ……パリー・ジョッセン
 製作総指揮……………マリリン・ハフト
 ……リンセイ・ロー
 撮影……………ジョルジー・スイースキン
 メイク……………ミッシェル・パーク
 ■キャスト■
 ガーネット・モントローズ……………マイケル・ピーン
 ジョージナ・ランス……………モーリン・ミュラー
 ポッター・ダウエンリー……………パトリック・テンブシー
 クインタス・パーチ……………マイケル・ピーチ



マイケル・ピーン

待望の初主演作品!

顔をメチャメチャにされた帰還兵ガーネットに扮し、その心の痛みと苦しみを全身で体現するのは「ターミネーター」(84)「エイリアン2」(86)で人気絶頂のマイケル・ピーン。彼はその甘いリップスをケロイドの下に隠し、演技力のみのも真剣勝負に挑んだ。彼自身「自分がこれをやる理由は唯ひとつ、芸術のためだ。ガーネットを演じるのは難しいが、この素晴らしいストーリーにはそれだけの価値がある」と語り、演技派としての実績を固めた。

ガーネットに変化をもたらす若者ポッターには「キャント・バイ・ミー・ラブ」(87)「ウー・ウー・キッド」(88)の新星パトリック・テンブシー。ガーネットが思いを寄せる若き未亡人ジョージナには、これが映画デビュー作のモーリン・ミュラー。とはいえ、すでに歌手、モデル、舞台女優としての成功を手中に収めている彼女の演技には、自信に満ち、円熟した大人の女の魅力がにじみ出ている。

また、主人公ガーネットのケロイドを作り出したのは、「人類創世」(81)でアカデミー賞を受賞した名メイクアップ・アーティスト、ミッシェル・パーク。リアルなケロイドメイクながら、見る者に恐怖よりも内面的苦悩への共感を覚えさせ、この作品の高潔さをより一層高めている。

(上映時間1時間32分)



エレガンス・シアター
銀座に新劇場誕生!

お得な前売券発売中!

〈一般1200円・学生1000円・ペア券2000円〉

●当日一般1500円/学生1300円/小人1000円



9月中旬

ロードショー!

●前売券は〈銀座シネパトス〉〈新宿シネパトス〉〈渋谷ジョイシネマ〉〈池袋東宝〉〈都内有名プレイガイド〉〈チケットセジン〉〈チケットぴあ〉〈丸井チケットガイド〉〈CN21〉〈大学生協〉にてお求め下さい。

銀座 **シネパトス1**

銀座三越先三原橋地下 ☎(561)4660

連日
 11:30
 1:25
 3:20
 5:15
 7:10